

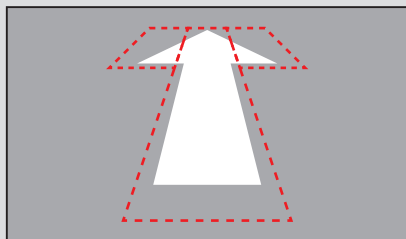
■使用場面について

- 矢印やゼブラ、外側線などを一時的に隠す仮ラインテープです。
- 車両のタイヤが通過する場所(交差点内や急発進・急停車する場所)の貼り付けは十分にご注意ください。
- ハンドルをきる場所での施工は避けてください。

■施工方法

1 位置決め

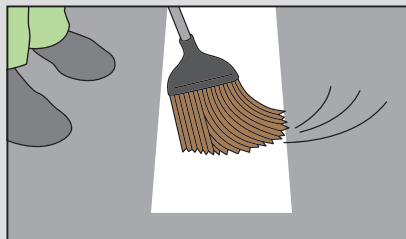
貼り付け方法を確認してください。



2 清 掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

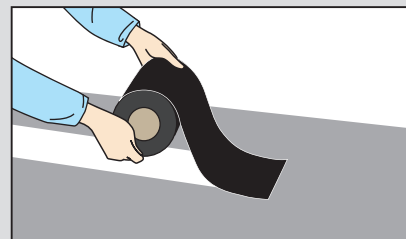
水分やゴミ・汚れ・ガラスビーズ等を十分に
取り除きます。
設置面が濡れている場合は施工できません。



3 貼 付

シートの裏紙(剥離紙)を剥がしながら貼付けます。シワにならないように
真っ直ぐ貼り付けます。

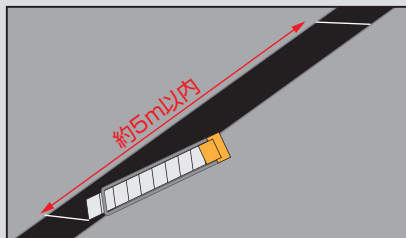
貼り付けする前に必ず裏面の注意点をご確認
ください。剥がれやすい場所はプライマー
の使用をお勧めしております。プライマーの
使用については裏面をご覧ください。



4 分 割

万一、シートの剥れで車両のタイヤ
への巻き込みを防ぐため、カッター
等でシートに切り込みを入れてくだ
さい。

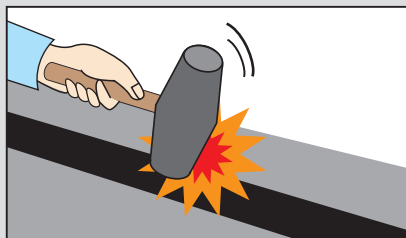
車両が通過しない箇所は約5m以内、車両が
通過する箇所は約1m以内の間隔で切り込
みを入れてください。



5 圧 着

ゴムハンマーなどで路面の凹凸が
シート表面に表れるくらい圧着して
下さい。とくにエッジ部分は十分に圧
着してください。

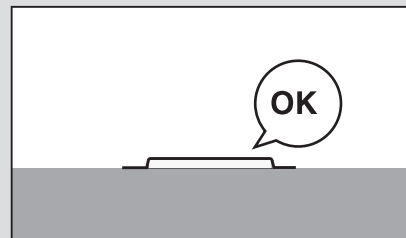
車のタイヤで圧着する際はシート上でハン
ドルをきらないように注意してください。



6 施工完了

シート圧着後、設置面の凹凸部まで
シートが接合していることを確認し、
施工完了です。

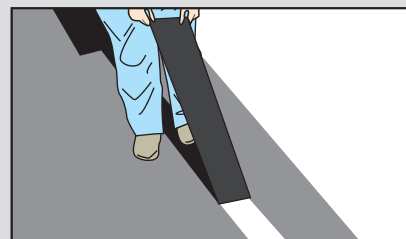
設置面とシートの間に隙間があると、浸水し
剥がれる恐れがあります。



7 撤 去

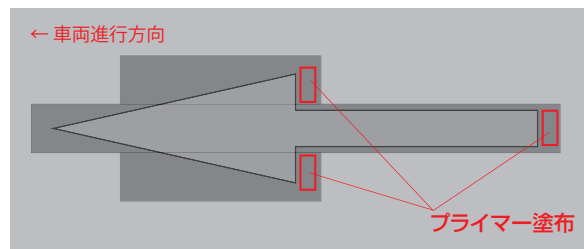
ゆっくり引っ張りながら剥がします。

垂直方向に勢よく剥がすと、のり残りする場合があります。

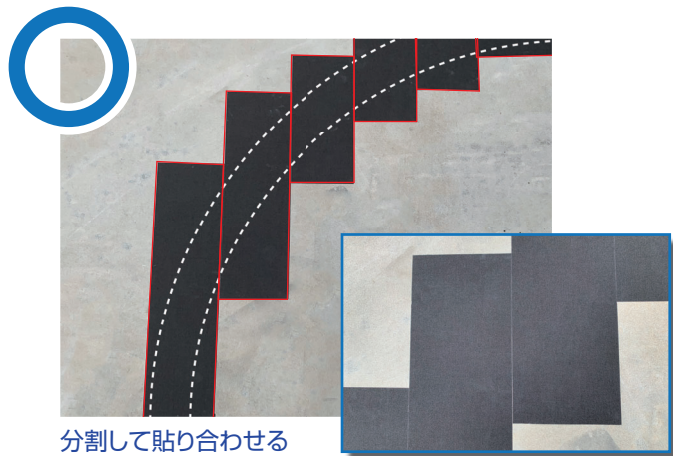


■プライマー使用方法

- 路面状況や交通量により、サポートラインが剥がれやすい箇所ではテープの貼り始めにプライマー(M-33等)を塗布してください。
- 隠すラインにプライマーを塗布せず、貼り始め(約5cm)の箇所に塗布してください。



■曲線部の貼り方



※写真は貼り方の一例です

■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 新設ラインを隠す際、未着ガラスビーズが残っていると、接着性を損ねる原因となります。十分に除去してください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、施工を避けてください。
- 設置面の適合性・接着性を十分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

■施工場所の注意点

※下記の場所については原則施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- 開粒舗装(アスファルト)。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)
- 車のタイヤの負荷が、かかる場所。(車が急発進・急停止する、ハンドルをきる場所など)

- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。